

東京国立博物館 ニュース

2014 **10-11**

展示と催し物案内
第727号

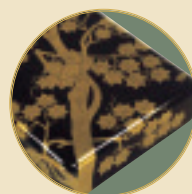
2※「日本国宝展」 4※ 特別展「みちのくの仏像」

5※ 2014 年日中韓国立博物館合同企画特別展「東アジアの華 陶磁名品展」

総合文化展「博物館でアジアの旅」

6-11※ 総合文化展／11※ 保存と修理情報②／12-13※ みどりのライオン 教育普及事業

14-15※ イベント&インフォメーション／16※ 10月・11月の展示・催し物



紅葉より名品。
芸術の秋、到来！



日本国宝展

日本人の「祈り、信じる力」、
トータルに集結！

「国宝」を見るとき、私たちは出会えた喜びを、そして日本人としての誇りを深く感じます。
その「国宝」を、一気に約120件も見ることができる「日本国宝展」。
今回はそのなかから、研究員も心待ちにしている作品とその見どころをご紹介します。

平成館 特別展示室

10月15日(水)

12月7日(日)

ぶつねはんず
●仏涅槃図

平安時代・応徳3年(1086)
和歌山・金剛峯寺蔵
展示期間:10月15日(水)~
11月9日(日)

沖松
研究員
オススメ
日本の現存
最古にして
最高！



●土偶(縄文のビーナス)
縄文時代(中期)・前3000~前2000年
長野県茅野市棚畑遺跡出土
茅野市蔵 尖石縄文考古館保管



品川
研究員
オススメ

安産や豊穡、
縄文の祈りの形

縄文時代の資料として初めて国宝に指定されたのが土偶・縄文のビーナス。端正な顔立ちとは対照的に柔らかな優美な姿は、まさにその名にふさわしい風格を備えています。これまで全国各地で約2万件の土偶が出土していますが、そのなかでも国宝に指定された土偶はたったの5件。11月21日(金)~12月7日(日)には、その国宝土偶が勢ぞろいします。

(品川欣也)

こうもくてんりゅうぞう
●広目天立像(四天王のうち、
金堂所在)

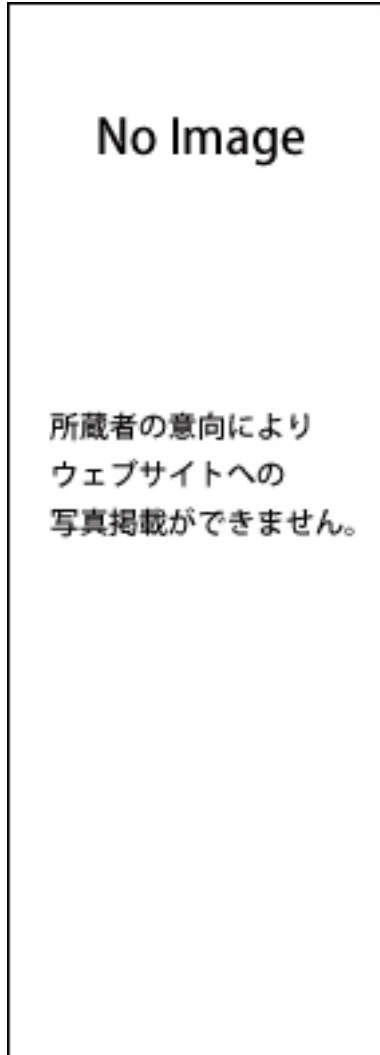
飛鳥時代・7世紀 奈良・法隆寺蔵

丸山
研究員
オススメ

微笑みの四天王像
に会う

四天王という、怒りの形相で邪鬼を踏みつける姿が思い浮かびますが、本展覧会に出品される2体の像(本作品と、奈良・興福寺蔵の国宝多聞天立像 展示期間:11月11日(火)~12月7日(日))に怒りの表現は見られません。この広目天は笑みを浮かべているように見えます。邪鬼のユニークな表情にも注目ください。

(丸山士郎)



特別展と
一緒に見たい!



すいてき すいろう
●水滴(水孟)

唐または奈良時代・8世紀
法隆寺宝物館第5室 通年展示
墨を摺るための水を入れる器。銅でつくり、金メッキしています。日本国宝展にも出品される海磯鏡や竜首水瓶とともに、法隆寺献納宝物の金工の代表作の一つです。

トーハクの名品



かたわく くらまらでんてばこ
●片輪車螺鈿手箱

鎌倉時代・13世紀
本館12室 ～11月16日(日)
日本国宝展で展示される平安時代の国宝 片輪車時絵螺鈿手箱(展示期間:10月15日(水)～11月9日(日))とともに、当館が誇る国宝の漆工品。

特集

「国宝再現—田中親美と模写の世界—」

平成館企画展示室
10月15日(水)～12月7日(日)

国宝の模写・模造を作った田中親美(1875～1975)に焦点をあてた特集です。「日本国宝展」とあわせてご覧ください。



へいけのうみうろ けんぼうとうほん
平家納経 見宝塔品
第十一(模本)(部分)

田中親模 模本:大正時代・20世紀、
原本:平安時代・長寛2年(1164)(原本:
国宝・広島・厳島神社蔵)
展示期間:10月15日(水)～11月9日(日)

総合文化展でも
国宝や名品に
出会うのよ!



東京国立博物館
キャラクター



トーハクくん ユリノキちゃん



とり げりつじょのびょうぶ
鳥毛立女屏風
第3扇(北倉44)(部分)
奈良時代・8世紀
正倉院宝物
展示期間:10月15日(水)～
11月3日(月・祝)



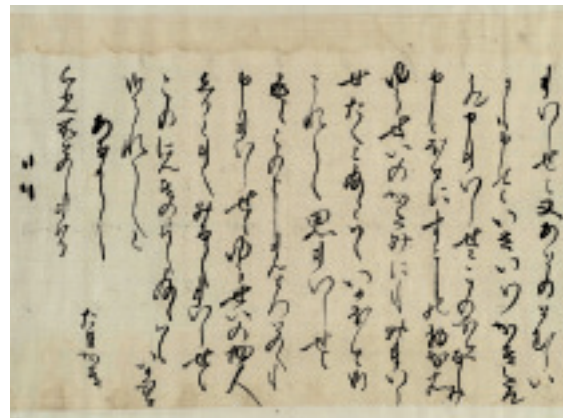
正倉院宝物、特別出品!

本展覧会には、正倉院宝物11件が期間限定で特別出品されます。聖武天皇遺愛の品々が中核をなす宝物は、祈りをこめて東大寺大仏に捧げられ、以後大切に守り伝えられてきた、まさに「国の宝」といえるでしょう。教科書にもよく登場する、有名な「鳥毛立女屏風」をはじめ、貴重な宝物が展示されます。(伊藤信二)

日本国宝展

主催:東京国立博物館、読売新聞社、NHK、NHK プロモーション
協賛:損保ジャパン日本興亜、大仲社、日本通運、みずほ銀行
観覧料金:一般1,600円(1,400円/1300円)、
大学生1,200円(1,000円/900円)、
高校生900円(700円/600円)
*()内は前売/20名以上の団体料金。
中学生以下無料
*障がい者とその介護者1名は無料
*前売券は10月14日(火)まで、東京国立博物館
正門チケット売場(窓口、開館日のみ)、
展覧会公式ホームページ、ローソンチケット【Lコード=32200】、チケットぴあ【Pコード=766-176】、
セブンチケット【セブンコード=030-612】、イープラス、JTB 各支店・JTB 総合提携店にて販売
お問合せ:ハローダイヤル 03-5777-8600
展覧会公式ホームページ <http://kokuhou2014.jp>

●は国宝、◎は重要文化財、○は重要美術品を表します。
特に表記のないものは東京国立博物館所蔵です。



とうじりやくごうもんじよ
●東寺百合文書のうち
たまかき書状(部分)

室町時代・15世紀
京都府立総合資料館蔵
展示期間:11月18日(火)～12月7日(日)



古代・中世史研究の 貴重な基本史料

東寺百合文書は、もとは京都の東寺に伝わった膨大な文書群で、現在は京都府立総合資料館が管理しています。中世の政治・社会を物語る基本史料のひとつで、天皇や将軍が出した文書から、「たまかき」という名の庶民の女性が書いた仮名の書状(写真)まで、多彩な文書を含みます。ユネスコ記憶遺産の候補として日本から推薦され、2015年の登録が期待されています。(田良島哲)

がんこうじ じこくらくこう じしゅうのしょうとう
●元興寺極楽坊五重小塔
奈良時代・8世紀
奈良・元興寺蔵



国宝の建造物が 展示室のなかに?!

高さ5・5メートルと、実際の五重塔よりはずっと小さいのですが、複雑な部材の組物など、建造物の塔

とほぼ同様の構造、工法で造られています。本展覧会の中では唯一、美術工芸品でなく、建造物として国宝指定された作品。展覧会に出品されるのは実に38年ぶり、東京で展示されるのは初めてです。(伊藤信二)



みちのくの 特別展 仏像の

力強く
そして優しい、
東北の仏たち

本館 特別5室

2015年
1月14日(水)
—
4月5日(日)

東北地方には魅力溢れる
仏像が多く伝わりま

す。この展覧会には東
北各県を代表する仏像
が出品されます。特に

注目していただきたいの

は、東北の三大薬師といわれる岩手・黒
石寺、福島・勝常寺、宮城・双林寺の
薬師如来像が初めて一堂に会すること
です。力強く、それでいて優しい顔を
した東北を代表する仏像です。

2011年3月11日、東北地方を巨
大な地震が襲いました。直後の厳しい
状況の中、被災地の人たちがみせた忍
耐や助け合いに、日本はもとより世界
中の人々が心を動かされました。東北の
仏像の顔には、そのような東北の人々
の気質が表れているように思えてなり
ません。この展覧会を通じて仏像の魅
力、東北の魅力にふれていただきたい
と思います。
(丸山士郎)



躍動感ある“都風”の仏像

◎十二神将立像(丑神)

鎌倉時代・13世紀

山形・本山慈恩寺蔵

東北地方の仏像というと地の香りがする像が思い起こさ
れるかもしれませんが、都のものと見まがう仏像もあり
ます。この十二神将像もその一つで、写実的な表情、勢い
のある身体表現は鎌倉彫刻の特徴がよく表れています



画像提供: 東北歴史博物館



画像提供: 東北歴史博物館

海を見守る高台の観音様

◎十一面観音菩薩立像

鎌倉時代・14世紀

宮城・給分浜観音堂蔵

高さ3m近いこの十一面観音像は、牡蠣の
養殖で知られる給分浜の海を見下ろす高台
に安置されています。海に出た人を見守る
かのようです。海や浜などは津波の被害に
遭いましたが、高台にまつられた像は難を
逃れました

木目も美しい、端正な美仏

◎伝吉祥天立像

平安時代・9世紀

岩手・成島毘沙門堂蔵

みちのくの仏像の中で最も美しい像で
す。穏やかながら美しく整った顔には近
寄り難さすらあります。ケヤキの木目の
美しさも目を引きま。頭上に2頭の象
を表す珍しい作品です

関連イベント

記念講演会「みちのくの仏像」 事前申込制

日時:2015年1月24日(土) 13:30~15:00(開場13:00予定)

会場:東京文化財研究所セミナー室

*会場は当館内ではございませんので、お間違いないよう
ご注意ください。

講師:丸山士郎(当館平常展調整室長)

定員:110名(事前申込制、応募者多数の場合は抽選)

聴講無料(ただし、本展覧会の観覧券が必要。半券でも可)

申込方法:往復はがきの「往信用裏面」に郵便番号・住所・氏名
(ふりがな)・電話番号、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名
を明記のうえ、下記までお申し込みください。

申込先:〒106-8791 麻布郵便局留

特別展「みちのくの仏像」講演会係

*1枚のはがきが最大2名の申し込み可。2名の場合は、それ
ぞれの氏名を必ず明記してください。

申込締切:2014年12月15日(月)必着

特別展「みちのくの仏像」

主催:東京国立博物館、NHK、NHKプロモーション、
読売新聞社 後援:文化庁、青森県、岩手県、宮城県、
秋田県、山形県、福島県

協力:あいおいニッセイ同和損害保険

観覧料金:一般1,000円(900円/900円)、

大学生700円(600円/600円)、高校生400円(300円/300円)

* ()内は前売/20名以上の団体料金。中学生以下無料

*障がい者とその介護者1名は無料

*前売券は2014年10月15日(火)から2015年1月13日(火)
まで、東京国立博物館 正門チケット売場(窓口、開館日の
み)、チケットぴあ[Pコード:766-411]、ローソンチケット[L
コード:31761]、セブンイレブン[セブンコード:033-533]、
イープラスほかにて販売

お問合せ:ハローダイヤル 03-5777-8600

展覧会公式ホームページ: <http://michinoku2015.jp/>



◎薬師如来坐像

平安時代・貞観4年(862) 岩手・黒石寺蔵



◎薬師如来坐像

平安時代・9世紀 宮城・双林寺蔵



◎薬師如来坐像

平安時代・9世紀 福島・勝常寺蔵

迫力の縄文アートにくぎづけ！



日本の
オススメ

かえんがたどき 火焰型土器

伝新潟県長岡市馬高出土
縄文時代(中期)・
前3000～前2000年
東京国立博物館蔵
日本のやきものの原点。深鉢から立ち上がる炎の表現は、迫力に溢れています。大昔に作られたとは思えない造形性の高さで、観る人を惹きつけます

こうらい 高麗青磁を代表する優品！



韓国の
オススメ

せいじ かめがたすいじゅう 国宝 青磁亀形水注

黄海北道開城付近出土
高麗時代・12世紀
韓国国立中央博物館蔵
朝鮮半島の青磁は、高麗時代(918～1392)に中国の影響のもとに完成しました。やきものの柔軟性をいかした複雑かつ華やかな造形と、線刻や象嵌、鉄絵などによる細やかな装飾が高麗青磁の大きな特徴です

2014年
日中韓国立博物館
合同企画特別展

東アジアの 陶磁名品展

本館 特別5室

9月20日(土)

11月24日(月・休)

関連イベント

記念講演会

日時:9月27日(土) 13:30～15:30
会場:東京国立博物館 平成館大講堂
講師:伊藤嘉章(当館学芸企画部長)・
杜衛民(中国国家博物館保管一部副研究員)・
具一會(韓国国立扶余博物館長、
前韓国国立中央博物館美術部長)
※逐次通訳付き
定員:380名(当日受付、先着順)
聴講無料(ただし当日の入館料が必要)

東アジアの華 陶磁名品展

主催:東京国立博物館、中国国家博物館、
韓国国立中央博物館
観覧料金:総合文化展の料金でご覧いただけます
*障がい者とその介護者1名は無料
お問合せ:ハローダイヤル 03-5777-8600

これが唐代の 最高級青磁！

2級文物 せいじわん 青磁碗

越窯
陝西省扶風県
法門寺地宮出土
唐代・9世紀
中国国家博物館蔵
この碗は、唐時代の皇帝・貴族らが寄進したといわれる法門寺の塔地宮(地下宮殿)から見つかった宝物のうちの1点で、当時越窯で作られた最高級の青磁、いわゆる「秘色」青磁と呼ばれる貴重な作品です



中国の
オススメ

どっぷり 東洋美術！

アジアフェス イントーハク

この秋、東京国立博物館では
東洋美術を楽しむ特別企画を開催します。
東アジアの陶磁器が揃う特別展、
東洋美術コレクションをお楽しみいただく
東洋館での総合文化展、そしてイベントの数々。
この機会にアジアの美術をじっくりと
お楽しみください。



アジアンスペクタクル

韓国伝統芸能

サムルノリ(太鼓と踊り)の公演。
10月4日(土) 14:00、16:00(各30分)

出演:李昌燮ほか
会場:東洋館前(雨天の場合は平成館大講堂)

中国伝統芸能

中国太陽芸術団による京劇・雑技・音楽の
ショー。

10月5日(日) 14:00、16:00(各30分)

出演:中国太陽芸術団
会場:東洋館前(雨天の場合は平成館大講堂)

アジアぬりえ

アジア美術のなかの魅力的なモチーフをぬりえにしました。あなたのイメージで色をつけてみませんか？

10月4日(土)、5日(日)、11日(土)、12日(日)
11:00～16:00

会場:東洋館1階 エントランスホール
*当日、随時自由参加。子ども向け、大人向けともにご用意しています

展示解説・ガイド

スペシャルツアー

60分でめぐるアジア美術の旅
研究員がエスコート！

9人の研究員が、それぞれのテーマで東洋美術をめぐる旅を企画しました。

*詳細は巻末のカレンダー、当館ウェブサイトをご覧ください

ボランティアによるガイドツアー

東洋館ハイライトツアー、彫刻、たてものなど、アジアフェスにあわせた特別なツアーを実施します。

*詳細は巻末カレンダー、当館ウェブサイトをご覧ください

アジアを体感！ワークショップ

着てみてポーズ！中国・韓国の伝統衣装
期間中毎日 11:00～16:00

会場:東洋館1階 エントランスホール
*当日、随時自由参加。子ども用、大人用ともにご用意しています

東洋館を舞台に、アジアの魅力を味わい尽くすイベントです。アジア美術をめぐるガイドツアー、伝統芸能の公演、衣装体験、アジアフードの屋台など、五感をフルに使って楽しむ日帰りアジア旅行へ出かけませんか？

総合
文化展

博物館の 旅で

東洋館

9月30日(火)

10月13日(月・祝)

アジアン屋台出店時間:アジア各国のフードが勢ぞろい！

10月3日(金) 17:00～20:00
10月4日(土)、5日(日) 11:00～20:00

10月10日(金) 17:00～21:00
10月11日(土) 11:00～21:00
10月12日(日)、13日(月・祝) 11:00～18:00

次のページで
「博物館でアジアの旅」
の
注目作品を
チェックだほ



東洋館

アジアを旅する

⑦マークは、「博物館でアジアの旅」期間中、東洋館で見られる名品です。

東洋館
3室

「インド・ガンダーラの彫刻」

東西交流が生み出したイケメン仏

如来坐像

通年展示

「文明の十字路口」という言葉を耳にしたことがありますか。洋の東西をつなぐシルクロードには、この十字路がたくさんあるのです。中央アジアからインドへ到るには、ヒンドークシシュ山脈とカラコルム山脈の間を抜けるのが主要なルートです。ガンダーラはこの道筋上にあり、古来東西の人や物が行き交いました。

ガンダーラの仏像は、仏教の開祖であるインド人のシャカの姿を表わしたものです。まるでギリシャ・ローマの彫刻のような造型です。多様な文化が交じり合う中で、西洋的な姿の仏像が生み出されたのです。

(小泉惠英)



⑦

如来坐像

パキスタン・ガンダーラ
クシャーン朝・2～3世紀
玄奘三蔵のインドへの旅
も仏教の教えを求めるためでした

東洋館
4室

「中国文明のはじまり」

皇帝の勅令を封じたシール

「皇帝信璽」封泥

12月7日(日)



⑦

「皇帝信璽」封泥

秦～前漢時代
前3～前2世紀
阿部房次郎氏寄贈
勅令を封じた封泥は都から
地方へ駆け抜けたことで
しょう

かつて中国では文書や荷を送るとき、梱包した縄に泥の塊を貼りつけて、そのうえに送り主の印を捺しました。泥は乾いて固まり、途中で何者かが開けた場合、壊れます。封泥とは、宛先人に無事届いたことを示す、今日の封筒に貼るシールのようなものでした。

封泥には官印、私印が捺されますが、皇帝の印が捺された例は「皇帝信璽」しか現存しません。「田」の字状の区画は秦から前漢前期にかけての封泥に見られます。この印を捺した人物は始皇帝だった可能性も否定できません。

(川村佳男)

東洋館
5室

「中国の陶磁」

蒐集にかけた思いと情熱

「横河コレクション」宋・元のやきもの

10月15日(水)～12月7日(日)

本年、横河民輔生誕150年を迎えるにあたり、横河コレクションの中国陶磁を3期にわたって展示しています。2期目の今回は、「宋・元のやきもの」が一堂に会します。宋(960～1127)と元(1271～1368)、この2つの王朝のもと、南北各地において陶磁器生産は開花しました。最盛期を迎えた定窯、耀州窯、磁州窯、龍泉窯の名品はどれも個性豊か。横河コレクション

の中でも高く評価されてきたものばかりです。魅力あふれるさまざまな作品をご堪能ください。

また横河氏は、古代中国の銅鏡・帯鉤(革帯を留めるための金具)などの金属器も集めていました。これまでほとんど展示されることのなかった、知られざる横河コレクションもあわせてご紹介いたします。

(三笠景子、川村佳男)



三彩兔文皿

中国・磁州窯
金～元時代・至元6年(1269)銘
横河民輔氏寄贈
愛らしい兎を線彫りし、黄・白・緑の3色に塗り分けた小皿。裏に至元6年の墨書が残る貴重な作品

桐鳳凰牡丹文盆

中国 清時代・18～19世紀
横河民輔氏寄贈
みごとに彫金が施された盆。器体は銅・鉛合金で、文様は黄銅などで着色しています



⑦
争奪3期!!

2015年1月2日(金)～3月29日(日)

「横河コレクション」

「鳳香譜」の世界より

東洋館 5室

「中国の染織」

憧れの舶載裂は、ステータスの証拠

「加賀藩前田家伝来名物裂」

12月7日(日)



濃縹地花兎文様金欄(角倉金欄)
中国 明時代・16～17世紀 前田家伝来
豪商茶人、角倉了以の好みは愛らしい

茶の湯において尊重され、掛け物の表具や仕覆などに仕立てられた裂の多くは、中国から舶載されたもので「名物裂」と称します。名物裂は、高僧や著名な茶人などの名前を冠し、その由来をうかがうのも楽しみのひとつです。

当館には、加賀百万石と称された大名、前田家に由来する名物裂の一部が所蔵されています。前田家の名物裂蒐集は、3代前田利常が家臣を長崎に遣わし、万金を投じて購入したのが始まりと伝えられています。「茶の湯」という日本独自の価値観の中で珍重された中国染織の精髓をご覧ください。(小山弓弦葉)

東洋館 8室

「中国の絵画」

「五龍図巻」をめぐる数奇な物語

特集 「中国書画精華」

「護り伝えられてきた名品たち」

9月30日(火)～12月7日(日)



◎五龍図巻
伝陳容筆 中国 南宋時代・13世紀
展示期間:9月30日(火)～11月3日(月・祝)
黒雲の中に龍がからみつきながら姿を現す場面です。本格修理が終わり、美しくよみがえりました

中国書画の名品を展示している毎年恒例の特集「中国書画精華」ですが、今年は「五龍図巻」に焦点をあてます。当館所蔵の「五龍図巻」は、南宋時代の名品として知られてきましたが、近年、ボストン美術館とメトロポリタン美術館に分蔵される作品と、もとはひとつの作品であったものが切り取られたものであることがわかってきました。昨年修理され、その後今回が初めての展示となります。新調された箱と旧箱、伝来を示す書付などとともに展示します。

作品の数奇な運命をめぐる、スリリングな旅をお楽しみください。(塚本鷹允)

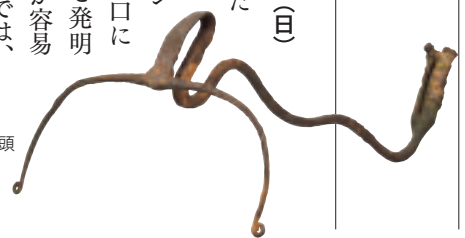
東洋館 10室

「朝鮮の王たちの興亡」

旗をなびかせた新羅の馬

寄生

9月23日(火・祝)～
2015年4月5日(日)



寄生
三国時代(新羅)・6世紀初頭
韓国梁山夫婦塚出土
奇妙な形は、鞍にしっかりと装着させるため

人類は馬に乗るために様々な発明を重ねました。西アジアの遊牧民が馬の口にくわえさせる轡を発明し、馬を操ることが容易になりました。中国では、遊牧民と農耕民の戦いを経て、農耕民も馬に乗りやすくするため鐙が発明されました。農耕民の間に広まった馬具は、権力のシンボルにもなっています。

朝鮮三国時代の新羅の地方首長の墓である梁山夫婦塚からは、鉄製の轡・鐙のほか、金銅板で飾った鞍、銅製の馬鐙など、墓の主が用いた馬具一式が出土しています。それらの中に、ぐにやぐにやに蛇行し先端が二股になった鉄製品があります。「蛇行状鉄器」とも呼ばれるこの作品は、高句麗の壁画古墳や、日本の形象埴輪での表現を参考に、鞍の後輪に旗を取り付けるための金具、中国の歴史書「南齊書」にいう「寄生」であると考えられました。二股を鞍に取り付け、反対側の端の筒形の部分に旗を挿して、馬上の人の偉大さを強調していたのでしよう。(白井克也)

東洋館 13室

「インドの細密画」

天上を優雅に進むインドの神々

ダマヤンティー姫の婿選びへ行く神々

9月30日(火)～11月3日(月・祝)



◎ダマヤンティー姫の婿選びへ行く神々(ナラ王物語)
インド、グレール派 19世紀初
インド細密画は地域・時代で画風もさまざま

古代インドの叙事詩『マハーバータ』は、インドの2つの部族の争いを中心とした壮大な物語です。『ナラ王物語』はその挿話のひとつで、王女のダマヤンティーが別の国の王であるナラ王に恋心をいだき、婿選びの儀式を経て2人は結ばれます。ナラ王は博打ですべてを失いますが、神通力で失ったものを取り戻し、2人は幸せに暮らしました。

この場面は、王女の父が催した婿選びの儀式にインドラ、ヴァルナ、アグニ、ヤマといった天に住む神々が向かうところです。天の馬車に乗り雲間を進む様子は、古代インドの最も優雅な旅の姿であったかもしれません。(小泉恵英)

11/24月・休

白糸威胴丸具足

江戸時代・17世紀
威糸の増減を巧みに利用して日の丸を大きくあらわしています



4 茶の美術

10/28火—1/25日

○大井戸茶碗 有楽井戸
朝鮮 朝鮮時代・16世紀
松永安左工門氏寄贈
茶人に愛された大井戸茶碗。穏やかな雰囲気漂わせています



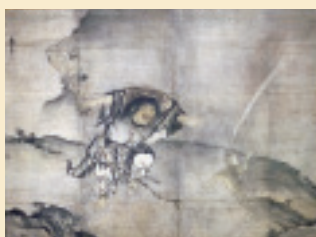
10/26日

織部洲浜形手鉢
美濃 江戸時代・17世紀
養進氏寄贈
伝統的な洲浜形の器に、2種の土からなる織部の造形美が表わされます



3 -3

禅と水墨画 —鎌倉～室町



10/15水—11/24月・休

○四季山水図屏風(部分)
伝周文筆 室町時代・15世紀
四季おりおりの美しい風光を室内に居ながらにして楽しめる作品です



10/13月・祝

蝦蟇鉄拐図(部分)
雪村周継筆 室町時代・16世紀
関東や福島県で活躍した画家、雪村が大画面に躍動する仙人を描いています



3 -2

宮廷の美術 —平安～室町

10/15水—11/24月・休

○深養父集断簡(名家集切)
伝紀貫之筆 平安時代・11世紀
松永安左工門氏寄贈
飛雲を渡ぎ込んだ料紙と「高野切」を学んだ筆致が優美です



2 国宝室

9/17水—10/13月・祝

○風信帖(部分)
空海筆
平安時代・9世紀
京都・東寺蔵
空海の真筆として名高い、最澄にあてた書状。最澄と親交を結んでいた時期の様子がうかがえます



10/15水

11/24月・休

○寛平御時后宮歌合(十卷本歌合)(部分) 平安時代・11世紀
藤原頼通の命により編集された十卷本歌合の一部。本巻は、光孝天皇の女御が開催した歌合を書写したものです



10/13月・祝

○清水寺縁起絵巻 巻中(部分)
土佐光信筆 室町時代・永正14年(1517)
「清水の舞台」でも有名な、京都東山の清水寺創建の物語です



3 -1

仏教の美術 —平安～室町

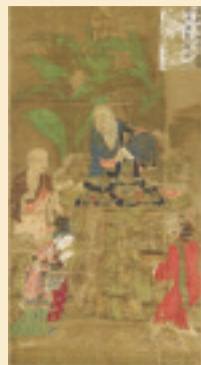
10/15水

11/24月・休

「日本国宝展」に関連した作品などを展示します。

○十六羅漢像(第八尊者)

平安時代・11世紀
形も色も温かな11世紀平安仏画の名品です



○尊海渡海日記屏風 尊海筆

室町時代・天文8年(1539) 広島・大願寺蔵
中国風の整然として堂々とした筆跡が印象的。屏風は朝鮮時代の形式をよく残しています

10/13月・祝

中国美術の影響がみられる作品などを展示します。



10/15水—11/24月・休

十一面観音菩薩立像

飛鳥時代・7世紀
和歌山県東牟婁郡那智勝浦町那智山出土
北又留四郎氏他2名寄贈
日本における十一面観音像として最古の例。眉目を一文字に引いた童顔が特徴です



1 -1

日本美術のあけぼの —縄文・弥生・古墳

12/7日

○ハート形土偶
縄文時代(後期)・前2000～前1000年
群馬県東吾妻町郷原出土 個人蔵
デフォルメされた顔や体の特徴ですが、繊細な文様もまたこの土偶の見どころです



埴輪 盛装の男子 古墳時代・6世紀
群馬県太田市四ツ塚古墳出土
古墳上に再現された儀式にのぞむ威儀を整えた貴人の姿



1 -2

仏教の興隆—飛鳥・奈良

10/13月・祝

大智度経巻第七十五(石山寺一切経)

奈良時代・天平6年(734)
千葉・円福寺蔵
播磨国(兵庫県)の有志が力を合わせて書写した知識経として知られる奈良朝写経の名品です



7

屏風と襖絵 — 安土桃山・江戸

10/28 火 — 12/7 日

○秋山遊猿図(部分)

森狙仙筆 江戸時代・19世紀

猿の毛並みは迫真の描写で「狙仙の猿」といわれるほど評判を得ました



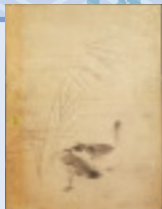
— 10/26 日

○芦雁図襖
(部分)

円山応挙筆

江戸時代・天明4年(1784)

居ながらにして、雁たちが群れ遊ぶ空間にいるような心持ちとなる絵



5

6

武士の装い

— 平安～江戸

○沃懸地葵紋蒔絵螺鈿打刀

江戸時代・19世紀



●太刀 銘 助真 鎌倉時代・13世紀
紀州徳川家に伝来した太刀で、豪華な打刀の外装も同時に展示します

8 - 1

暮らしの調度 — 安土桃山・江戸

— 11/24 月・休

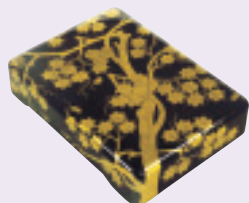


○色絵紅葉賀図茶碗

仁清 江戸時代・17世紀

山本富子氏・山本賢二氏寄贈

源氏物語「紅葉賀」帖を表現した図柄は、いかに御室窯らしい王朝趣味です



○花車置物

江戸時代・19世紀

このように薄い金属板で作品を作る技術は、簪の製作によって発達しました



○楓蒔絵文庫

原羊遊斎作

江戸時代・19世紀

作者は江戸時代後期を代表する有名蒔絵師。楓の枝葉が箱の表面を覆いつくしています

8 - 2

書画の展開

— 安土桃山・江戸

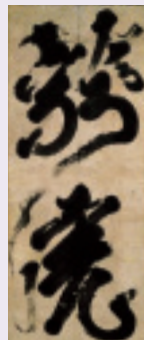
— 10/26 日

○耕作図屏風(部分)

久隅守景筆

江戸時代・17世紀

春夏秋冬の農作業を描いた屏風のうち、のどかな秋の収穫の様子です

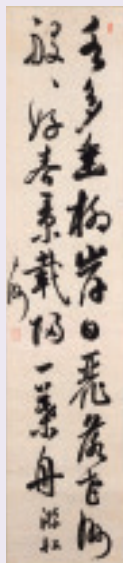


○龍虎二大字

後陽成天皇筆

安土桃山時代・16～17世紀

時代の気風を表わした雄渾な2文字は見る者を圧倒します



10/28 火 — 12/7 日

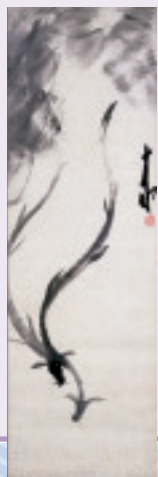
○五言絶句

尾藤二洲筆

江戸時代・19世紀

馬場瑞圃氏寄贈

柴野栗山、古賀精里とともに「寛政三博士」と呼ばれた江戸中期を代表する儒者・尾藤二洲による書です



○鰻図

林十江筆

江戸時代・19世紀

自由奔放で生き生きとした筆墨。落款(サイン)もまるで鰻のよう

能と歌舞伎

9



能「松風」の舞台にあわせて、江戸時代の面・装束を中心に展示します。

○縫箔 紅地青海波鴛鴦河骨模様

江戸時代・18世紀

腰巻なので、腰から下に美しい刺繍が施されています

9/30 火 — 11/24 月・休

○能面 小面

江戸時代・17～18世紀

若く初々しい女性の象徴である「小面」



【衣装】 9/30 火 — 11/24 月・休

秋を彩る紅葉模様や名所風景模様の小袖を中心に展示します。

○小袖 染分輪子地若松小花鹿紅葉模様

江戸時代・17世紀

大胆な染め分け地に刺繍で模様を数き詰めた、洒落た装いです



○小袖 紅緞緬地幕紅葉模様

江戸時代・18世紀

『源氏物語』の「紅葉賀」の巻をモチーフにしたデザイン



10

浮世絵と衣装 — 江戸

【浮世絵】

9/30 火 — 10/26 日

墨摺絵や漆絵、紅絵、紅摺絵や水絵を含む多彩な版画作品を展示します。

○坐鋪八景・時計の晩鐘

鈴木春信筆

江戸時代・18世紀

行水の後縁側で涼む女性。侍女が時計の音に振り返っています



10/28 火 — 11/24 月・休

長判摺物や短冊判の風景図、さらに版本を加え、浮世絵の多様性をご覧ください。

○柱時計美人図

西川祐信筆

江戸時代・18世紀

別れの時を告げぬよう分銅の紐を結ぶ娘の姿を描いています



本館

日本に会う

本館特別 2 室

日本の憧れ、唐物の世界を知る

特集 「唐物つてなに？」

9月30日(火)～11月24日(月・休)



青磁尊形花生

中国 龍泉窯
南宋～元時代・13世紀
青銅器の「尊」に倣った形。存在感のある青磁は室礼において重宝されました



天目

瀬戸・美濃
室町時代・16世紀
石川県小松市波佐谷出土
流行していた中国の建盞
にならない、瀬戸では多くの
黒釉天目が作られました

日本では古くから中国舶来の文物に憧れを抱き、求め続けてきました。室町時代の将軍家や武家の間ではそうした「唐物」が珍重され、書院を飾りました。唐物の人気と普及は、やがて「和製唐物」を生み出し、国内で新たな美術工芸品を生み出します。さらに、陶磁器における古染付や祥瑞のような中国への注文による作例は中国にはない日本独特のものであり、いわば「もうひとつの唐物」です。この特集では、こうした唐物を関連作品とともに紹介します。(横山梓)

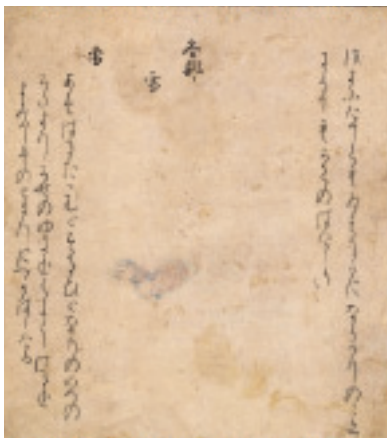
本館 3 室 宮廷の美術

文字、配置、料紙
三拍子そろった美しさ重美 深養父集断簡
(名家家集切)

10月15日(水)～11月24日(月・休)

平安時代の仮名の最高峰である「高野切」は、『古今和歌集』を3人で寄合書しています。今回の本館3室では、「高野切」とその周辺の名筆をご紹介します。

この「深養父集断簡(名家家集切)」は、「高野切」筆者の一人・源兼行(?-1102374?)の書によく似ています。近代の茶人・松永耳庵(1875-1971)が所蔵していた古筆切で、右側には秋の和歌、左は冬の詞書が書写されており、季節の移り変わりが感じられます。(恵美千鶴子)

○深養父集断簡
(名家家集切)

伝紀貫之筆
平安時代・11世紀
松永安左門氏寄贈
余白にある飛雲の装飾、その景色をお楽しみください

本館 7 室 屏風と襖絵

秋風そよぐ黄金色の野原

重文 秋草図屏風
10月26日(日)

○秋草図屏風 俵屋宗雪筆 江戸時代・17世紀
やわらかな秋風を感じさせる金屏風です

黄金の野原に、菊や萩、薄、女郎花、芙蓉など秋の草花が咲き乱れています。群生する秋草の絶妙な配置とともに、草花の根元を描かないことで、手前からいくつかの土手が重なっているように見え、秋の野原が広がっていきます。そして、薄の柔らかな葉先のカーブが秋風に吹かれてゆれる様子もみえてくるでしょう。描かれた当時、この屏風絵は蠟燭のような火の光で照らされていたのでしょうか、画面はあたたかも夜風に秋草が吹かれてゆれる野原にみえたに違いありません。(松嶋雅人)

本館 14 室

南蛮×東洋、融合のおもしろさ

特集 「漆芸に見る東西交流」
11月3日(月・祝)

安土桃山時代、カソリックの宣教師などが来日し、初めて西洋文化に触れた日本人は、彼らを南蛮人とよんで、さかんにその風俗を受け入れました。南蛮船交易の様子を描いた屏風や南蛮人の姿を表わした漆器が、大いに流行します。一方、漆の樹は東アジアに特有の植物で、その樹液を用いる漆芸は、東洋独特の工芸といえます。西洋の人々にとって漆を塗った器物はもの珍しく、漆器には東洋を象徴する品物として、求められ続けた歴史があります。漆芸品の中に、東西の文化交流の様相を探ってみましょう。(竹内奈美子)

○南蛮人蒔絵交椅

安土桃山～江戸時代・16～17世紀
京都・瑞光寺蔵
南蛮人に洋犬、象、葡萄唐草と、南蛮つながりでまめられています



(背板部分)



○花樹鳥獸蒔絵螺鈿聖龕

安土桃山～江戸時代・16～17世紀
蒔絵と螺鈿で覆い尽くすように装飾された聖龕の中には、油彩のキリスト磔刑像があります

法隆寺宝物館

宝物に浸る

平成館

考古で遊ぶ

●平成館 考古展示室

大王陵の埴輪をたどる

特集

「西日本の埴輪

―畿内・大王陵古墳の周辺―

12月7日(日)

埴輪は最初、弥生時代の西日本の墳丘墓(古墳)の前身となる墓制)で用いられた儀礼用の土器が変化して円筒埴輪などが成立しました。やがて畿内で鶏・水鳥や家・盾などをかたどった形象埴輪が登場、5世紀中頃には新たに人物・動物埴輪が加わり、葬送儀礼に関わるさまざまな場面を表わしていたと考えられます。とくに畿内の大型古墳では造形の差や大きさで格式差などを示し

ていたとみられ、全国の埴輪作りの基準であつたと考えられます。

今回は大王陵古墳が集中し、大型の埴輪がもつとも多く生産された大阪府古市古墳群を中心に、西日本の埴輪の構成と変遷や造形の特徴を紹介します。なお、本展示は平成26年度文化庁考古資料相互貸借事業によって実施するものです。

(古谷毅)



埴輪 猪

古墳時代(中期)・5世紀後半
大阪府藤井寺市 青山4号墳出土
大阪府立近つ飛鳥博物館蔵
狩猟は王権を象徴する儀礼で、狩人・猪に追われる猛々しい猪の姿を表しています

●法隆寺宝物館 第6室

聖徳太子の事蹟を描く

国宝

聖徳太子絵伝

11月11日(火)～12月7日(日)

この期間、第6室では聖徳太子信仰の聖地として知られた法隆寺東院の絵殿の内壁を飾っていた国宝「聖徳太子絵伝」と、聖徳太子とゆかりのある染織品を展示します。

絵伝は延久元年(1069)に摂津国の絵師・秦致貞によって描かれたものです。絵殿南側から見て東二面・北六面・西二面のコの字型の構図の中に、太子生涯の事蹟が、その起こった場所と第七面に描かれた法隆寺や斑鳩宮を基点とした場所との地理的位

置関係によって配置されています。

現存する最古にして最大規模、かつ初期やまと絵の代表作でもある聖徳太子絵伝の傑作です。

(沖松健次郎)



●聖徳太子絵伝

秦致貞筆
平安時代・延久元年(1069)
東側の第一面と第二面。殿前での誕生の場面などが描かれます

(誕生部分)



1000年後の未来に バトンタッチ!

保存と修理情報

25

保存修復室の仕事①

保存修復課の保存修復室は、解体を含む大がかりな修理のほかに、展示作品や館外へ貸し出す作品を安全に取り扱つための処置をマネージメントしています。処置を必要とする作品が作業室に搬入されると、保存修復室の職員が処置を担当する場合もありますが、全分野をカバーできないため、しばしば外部技術者に依頼し、館内の作業室で処置を進めます。写真は東洋館13室に展示予定の絨毯の処置の様子です。2013年の東洋館のリニューアル後、これまで2つに亘って展示した大きな染織品を広げて展示できるように工夫するため、袋状の棒通しを縫いつける処置が急増しました。

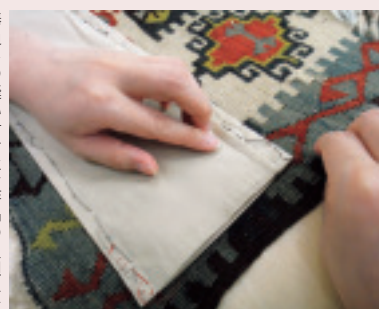
当館の展示は、多くの外部技術者に支えられて成り立っています。技術者リサーチと一つのも保存修復室の大切な仕事の一つです。さらに、ペテラン、若手の技術者がコラボ(共同作業)できる環境をつくり、若手が育つ手助けをしています。

今回は別の分野の処置についてご紹介します。どうぞお楽しみに。

(土屋裕子)



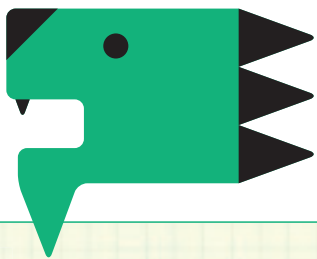
絨毯の表面に付着した汚れは、ネットを用いて安全にクリーニング



棒通しの縫い付けは、作品の負担にならない部分を選んで針を刺します



大きい作品は数人が共同で作業。ペテランと新人がコラボすることも



みどりのライオン

みんなで楽しむ教育スペース
EDUCATION CENTER 教学中心 教育センター

教育普及事業

PART 1

知る楽しみ、学ぶ喜び 講座・講演会・解説

講演会

「アジアフェス in トーハク」関連 *関連展示:本誌5ページ 月例講演会「中国青銅器をめぐる旅 4千年のものがたり」

日時:10月11日(土)13:30~15:00
講師:川村佳男(平常展調整室主任研究員)
ラーメンの丼の縁によくある「回」字形の模様。そのルーツが実は何千年も昔の中国青銅器にあることをご存知でしょうか。古代から現代まで、中国青銅器の4千年にわたる歴史の旅にご案内します。

月例講演会「縄文時代のうつわを考える」

日時:11月8日(土) 13:30 ~ 15:00
講師:井出浩正(考古室研究員)
縄文時代の代表的なうつわ、縄文土器。その遷り変わりの特徴から垣間見える縄文の世界をご紹介します。

第2回 石橋財団レクチャーシリーズ

「考古学をめぐる日欧交流の物語:お雇い外国人から現代につながる絆」
日時:10月25日(土) 13:30 ~ 15:00
講師:サイモン ケイナ(セインズベリー日本藝術研究所考古・文化遺産学センター長)、オリバー クレイグ(ヨーク大学考古学部准教授)
モデレーター:白井克也(考古室長)
現代につながる考古学、文化遺産学における日欧交流の物語について、英国の2人の学者がお話します。(同時通訳付き)

*会場は平成館大講堂、定員380名(先着順)、聴講無料(ただし、当日の入館料が必要)。
*開場は開始の30分前(予定より早める場合もあります)。

ギャラリートーク

インド細密画の世界 *関連展示:本誌7ページ

日時:10月7日(火)14:00~14:30 東洋館シアター
講師:小泉恵英(芸芸企画課長)
16世紀のムガル帝国の時代から流行したインド細密画。王侯や貴族の生活、神話などインド文化のエッセンスが凝縮された細密画をご紹介します。

西日本の埴輪の造形・変遷と伝播 *関連展示:本誌11ページ

日時:10月21日(火)14:00~14:30 平成館考古展示室
講師:古谷毅(列品管理課主任研究員)
特集「西日本の埴輪」に関連して、常に全国の埴輪作りの基準であった大王陵古墳をはじめとする畿内の埴輪の特徴や、地方への伝播について解説します。

横河民輔と中国陶磁 *関連展示:本誌6ページ

日時:10月28日(火)14:00~14:30 東洋館5室
講師:三笠景子(保存修復室研究員)
東洋館5室では生誕150年を迎えた横河民輔氏寄贈の中国陶磁を展示中です。横河コレクションの意義について魅力的な作品とともにお話します。

円筒埴輪と形象埴輪の見方 *関連展示:本誌11ページ

日時:11月7日(金)18:30~19:00 東洋館シアター
講師:河野正訓(考古室アソシエイトフェロー)
特集「西日本の埴輪」に関連して、戦後急速に進展した埴輪研究の基礎となった製作技術の見どころをわかりやすくご紹介いたします。

シリア青銅器時代の墓出土品

日時:11月11日(火)14:00~14:30 東洋館3室
講師:後藤健(特任研究員)
数百年前に展示される作品群で、一つの墳墓から出土した遺物の代表的なものです。出土品から、葬られた人物を推定してみましょう。

「唐物」を考える *関連展示:本誌10ページ

日時:11月18日(火)14:00~14:30 本館特別2室
講師:横山梓(特別展室研究員)
「唐物」って何でしょう? 展示室の陶磁器作品を中心に、歴史、様相、受容など多方向から「唐物」について考えます。

陶棺レリーフに見る7世紀の風景と日本古代文化史

日時:11月21日(金)18:30~19:00
平成館考古展示室
講師:古谷毅(列品管理課主任研究員)
哲学者・日本古代文化史家の和辻哲郎氏が奈良時代以前の文化に眼を向けるきっかけとなった陶棺の造形の特徴をご紹介します。

国宝 破墨山水図 雪舟筆

日時:11月28日(金)18:30~19:00
本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)
講師:救仁郷秀明(登録室長)
雪舟が、図上に自叙伝風の文章を書き記した大変珍しい作品である「破墨山水図」についてお話します。

●破墨山水図(部分)
雪舟等楊筆 室町時代・明応4年(1495)
11月26日(水)~12月23日(火・祝)
本館2室(国宝室)にて展示予定

東京藝術大学大学院インターンによるギャラリートーク・スライドトーク

「突起装飾 坏ができるまで一作ってみてわかったこと」

本館19室で展示している突起装飾坏を作ってみてはじめてわかった造形的な特徴や技術的な問題について、制作したインターンがご説明します。
日時:10月19日(日)・25日(土) いずれも15:30~15:50
会場:本館19室 みどりのライオン 体験コーナー(教育普及スペース)
集合:本館1階エントランス
解説者:平成25年度東京藝術大学大学院インターンシップ 調査研究班
10月19日(日) 佐々木怜央(美術研究科ガラス造形研究室)、岡田麻理恵(同漆芸研究室)
10月25日(土) 藤枝奈々(同ガラス造形研究室)、岡田麻理恵

東博ボランティアデー 2014

今年も国際ボランティアデーにちなんで、12月6日(土)・7日(日)に「東博ボランティアデー」を開催します。

博物館に来て、どこから見たらよいか、どう過ごそうか、迷ったことはありませんか? 皆さんにトーハクでの時間を「より楽しく」「より快適に」過ごしていただくために活躍しているのが、当館のボランティアです。腕章をつけたボランティアは、館内各所で



のご案内や、体験コーナーでのお声がけ、イベントやワークショップの運営サポート、さまざまなガイドツアーなどを行っています。

ボランティアデーの2日間は、通常の活動に加えて、ボランティアによるすべてのガイドツアーと、ボランティア活動を紹介するツアーに参加することができます。

ボランティアデーに参加し、さらにトーハクを楽しんでみませんか? 詳細は当館ウェブサイト、本誌12・1月号でご案内します。



*「東洋館シアター」とは、東洋館TNM&TOPPANミュージアムシアターのことです。

*事前申込プログラムにお申し込みいただいた方には、当落に関わらずご連絡します。実施日の3日前までに受講可否の返答がない場合は、通信トラブルの可能性もありますので、各申込先に電話でお問い合わせください。TEL:03-3822-1111(代表)

*各種催し物のご応募の際に提供いただいた個人情報は、当該の目的のみ使用させていただきます。終了後はすみやかに破棄します。

五感を使った美術体験 ワークショップ

事前申込制 [ウェブサイトフォーム]

おとなのためのワークショップ

「唐紙の魅力、料紙の魅力」

書跡鑑賞の大きなポイントは紙(料紙)の美しさ。料紙装飾や唐紙の魅力に触れ、唐紙のもようを摺ってみましょう。

日時: ①10月24日(金) 17:00~19:30

②10月25日(土) 14:30~17:00

会場: 本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

対象: 高校生以上 定員: ①②ともに20名(応募者多数の場合は抽選)

参加費: 無料(ただし、大学生以上は当日の入館料が必要です)

申込方法: 当館ウェブサイトの申込フォームでお申し込みください。

*1回の入力で、2名まで申込可。 申込締切: ①②ともに10月9日(木) 必着

ファミリーワークショップ

「きらきら光る唐紙を摺ろう」

貴族が和歌などを書いた紙はとってもきれいだ。今回はもようがきらきら光る唐紙に注目。どうして光っているのかな? 展示作品をみて、唐紙を摺って、唐紙の謎を解きあかそう。



日時: 10月25日(土) 10:00~12:30

会場: 本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

対象: 小学生とその保護者

定員: 10組(応募者多数の場合は抽選)

参加費: 無料(ただし、保護者は当日の入館料が必要です)

申込方法: 当館ウェブサイトの申込フォームでお申し込みください。

申込締切: 10月9日(木) 必着



ファミリーワークショップ

「からだが動くエビを作ってみよう」

からだが本物のように動く金属の置物「自在置物」は、とても高い技術がなければ作れません。力を合わせ、家族でひとつ、エビの自在置物を作ってみましょう!

日時: 11月29日(土)・30日(日) 各回13:00~17:00

場所: 本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

対象: 小学生とその保護者 定員: 各回10組(応募者多数の場合は抽選)

参加費: 無料(ただし、保護者は当日の入館料が必要です)

申込方法: 当館ウェブサイトの申込フォームでお申し込みください。

申込締切: 各回ともに11月13日(木) 必着



*インターネットからのお申込みができない方は、お電話でお問い合わせください。
TEL: 03-3822-1111(代) 教育普及室

あなたの鑑賞をサポート ボランティアによる事業

事前申込制 [往復はがき、ウェブサイトフォーム]

アートスタジオ

「勾玉作り体験」

ボランティアデー特別企画。通常子どもたちを対象に実施している定番プログラム「勾玉作り」を、大人の方に体験していただきます。

日時: ①12月6日(土) 11:00~11:50

②12月7日(日) 11:00~11:50

*いずれも同じ内容



オリジナルの勾玉を作りましょう

会場: 本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

対象: 高校生以上

参加費: 無料(ただし、大学生以上は当日の入館料が必要です)

定員: 各回20名程度(応募者多数の場合は抽選)

申込方法: 当館ウェブサイトの申込フォームか往復はがきでお申し込みください。往復はがきの場合には、「返信用裏面」に(1)参加者全員(2名まで)の氏名、ふりがな、性別、年齢、(2)参加者全員の郵便番号・住所(2名の場合は、それぞれの住所を必ず明記してください。)、(3)代表者の電話番号、(4)希望の回(①12月6日・②12月7日のいずれか)を、「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記申込先にお送りください。

*1枚のはがきで①②どちらか一方、最大2名まで申し込み可。

申込締切: 11月4日(火) 必着

申込先: 〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館ボランティア室「ボランティアデー勾玉作り」係



鑑賞ガイドアプリ「トーハクナビ」に新コンテンツ登場!

起動! トーハクで迷える すべての人のために!

「トーハクナビ」は、東京国立博物館の見学コースを紹介するアプリケーションです。スマートフォンで無料でダウンロードして使用していただけます。(iOS版、Android版あり)

鑑賞コースを選択すると、展示室や建物についての解説を聞くことができます。



海外からのお客様向けに英語版「Tohaku Navi」もあるほ!

作品に対する理解を深める体験型コンテンツも収録。観るだけではわからなかった作品の魅力に触れることができます。



蒔絵で模様を描いてみたり、自在置物を動かしてみたり、楽しいほ!

今秋、新コンテンツ始動!

10月下旬に公開予定の新コンテンツでは、本館2階「日本美術の流れ」の各コーナーで、必見作品の音声ガイドがスタート。利用者の動きを感知し、展示室ごとに自動的に再生されます。現在地も表示されるから、迷子になっても安心(?)

トーハクナビマーク
はこちら! ➡



作品ガイドは本誌8~9ページと連動してるほ。展示室で、トーハクナビマークをチェックだほ!

お気に入りの作品を登録してコレクションできる「マイコレ」機能も追加。自分のスマホで撮影した写真を保存し、感想を残すことができます。進化したトーハクナビをぜひご利用ください。

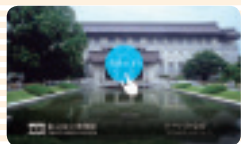


展示室の案内から
作品解説まで! コレさえあれば!
ユリノキちゃんいらずだほ!

聞こえてるわよー
(あとで東洋館裏に
呼び出そうと。)



*掲載した画像は開発中のものを含みます。



スタート画面



コース選択画面



体験型コンテンツ画面(蒔絵)

Music Weeks in TOKYO 2014 まちなかコンサート ～芸術の秋、音楽さんぽ～

都内の文化施設と連携した新進演奏家によるコンサートにトーハクも参加します！

日時：10月4日(土)・11日(土) 11:00～ (各回30分)

定員：各回100名(当日先着順)

場所：表慶館1階エントランスホール

参加費：無料(ただし、当日の入館料が必要)

主催：東京都/東京文化会館・東京文化発信プロジェクト室

((公財)東京都歴史文化財団)

お問合せ：東京文化会館事業企画課 03-3828-2116

10月11日(土)は留学生の日です

日本の学校に所属する留学生、ALT(外国語指導助手)および、その同行者は総合文化展が無料となります。*入館の際に学生証をご提示ください

当日は22:00まで特別夜間開館します(入館は21:30まで)。

〈イベントスケジュール〉

●「日本美術の流れ」英語ガイド 時間：10:00～11:00、15:00～16:00

本館2階の各所で、ボランティアが英語で作品紹介を行います。

●各種ガイドツアー やさしい日本語で行います。

(詳細はウェブサイトをご覧ください)

●留学生のためのお茶会(応募)

時間：①11:00～12:00 ②13:00～14:00

定員：各回15名(開始30分前には本館エントランスにて整理券配布)

参加費：300円

第11回 台東区の伝統工芸職人展

今年も様々な分野の職人による製作実演、製作体験を行います。下町の歴史と風土の中で生まれ受け継がれてきた、職人の本物の技と手づくりのぬくもりにふれてください。

日時：11月11日(火)～16日(日) 9:30～17:00

会場：表慶館

料金：総合文化展観覧料でご覧いただけます

主催：台東区 共催：東京国立博物館

協力：台東区伝統工芸振興会・台東伝統文化振興会

お問合せ：台東区役所文化産業観光部産業振興課 03-5246-1131

東京国立博物館賛助会員募集のご案内

東京国立博物館では賛助会制度を設け、当館の活動を幅広くご支援いただいております。賛助会員よりいただいた会費は、文化財の購入・修理、調査研究・総合文化展・施設整備等の充実にあてております。どうか賛助会の趣旨にご理解ご賛同をいただき、ご入会くださいますようお願い申し上げます。

入会日より1年(入会月の翌年同月末日まで)有効。

◎年会費

〈団体〉プレミアム会員 1000万円以上

特別会員 100万円(1口)

維持会員 20万円

〈個人〉プレミアム会員 100万円以上

特別会員 20万円/維持会員 5万円

◎主な特典

- 特別展の内覧会にご招待
- 東京国立博物館ニュースの送付

◎申込方法

当館窓口のほか、当館ウェブサイト(クレジットカード決済)、銀行振込で随時受け付けています。

◎お問合せ

東京国立博物館総務部 賛助会担当

電話 03-3822-1111(代)

東京国立博物館賛助会員 2014年9月9日現在

特別会員 団体

日本建設工業株式会社 様
株式会社 コア 様
大日本印刷株式会社 様
毎日新聞社 様
株式会社 大林組 様
朝日新聞社 様
株式会社 ホールオーケストラ・ブライズ 様
株式会社 ミロク情報サービス 様
読売新聞社 様
三菱商事株式会社 様

凸版印刷株式会社 様
公益財団法人 東芝国際交流財団 様
日本写真印刷株式会社 様
日本ロレックス株式会社 様
サロ・パ・ネット 様
株式会社 ミュージアムスタイルカフェ 様
株式会社 東芝 様
株式会社 みずほ銀行 様
一般財団法人 東京国立博物館協力会 様

維持会員 個人

木村 則子 様
星 聖鶴 様
伊藤 高子 様
井上 昌里 様
数内 匡人 様
服部 悦子 様
若井 重美 様
高田 明子 様
斎藤 裕子 様
齋藤 裕子 様
和田 美奈子 様
佐々木 芳絵 様
藤原 紀男 様
中川 俊光 様
関谷 徳衛 様
高橋 守 様
小澤 桂 様
上久保のり子 様
柳田 良豊 様
長谷川 英樹 様
池田 孝一 様
木村 剛 様

観世 あすか 様
星堂 由尚 様
久保 順子 様
渡辺 章 様
稲垣 哲行 様
帖佐 誠 様
飯岡 雄一 様
美也子 様
牧美也子 様
高瀬 正樹 様
坂井 俊彦 様
寺浦 信之 様
高木 美華子 様
吉原 知良 様
古屋 光夫 様
根田 穂美子 様
松本 淳子 様
是常 博 様
上野 孝一 様
北山 喜立 様
山田 泰子 様
野口 知子 様

維持会員 団体

TBS 様
株式会社 精養軒 様
株式会社 三冷社 様
株式会社 東京美術 様
株式会社 鶴屋吉信 様
日本通運株式会社 様
株式会社 安井建築設計事務所 様
株式会社 ナガホリ 様
松本建設株式会社 様
株式会社 古美術数本 様
謙慎書道会 様

近代書道研究所 様
日本書道振興株式会社 様
株式会社 東京書道館 様
インフォコム株式会社 様
学校法人 大勝院学園 様
有限会社 システム設計 様
株式会社 インターネット・インシアティブ 様
株式会社 小西美術工芸社 様
公和図書株式会社 様
有限会社 キャリヤ・竹柳堂 様
株式会社 青伸社 様

株式会社 モリサワ 様
アミ開発有限会社 様
光村図書出版株式会社 様
株式会社 アクトヒューマンリード 様
キョーリン製菓ホールディングス株式会社 様
株式会社 資生堂 様
株式会社 クラスパウ・ハーン・ジャパン 様
株式会社 デュナミス 様
キッコーマン株式会社 様
公益財団法人 創玄書道会 様
朝陽書道会 様

一般社団法人 書芸文化院 様
株式会社 都市環境企画 様
全日本空輸株式会社 様
楽天銀行株式会社 様
株式会社 清光社 様
有限会社 アトリエ・エビス 様
一般社団法人 学士会 様
公益財団法人 書道芸術院 様

井上 雄吉 様
大森 雅子 様
細川 要子 様
錦織 伸一 様
鈴木 幸一 様
秋元 文子 様
土師 建次 様
鎌賀 文子 様
野口 圭也 様
渡邊 雪絵 様
田中 榮二 様
谷川 紀彦 様
山口 隆司 様
原 一之 様
会田 健一 様
桐畑 政義 様
相良 多恵子 様
熊谷 勝弘 様
鈴木 幸一 様
今里 美幸 様

筑紫 みづえ 様
鳥山 玲様
尾崎 昌子 様
倉山 康雄 様
山根 聖子 様
梅本 幸子 様
榎本 一舟 様
阿部 良雄 様
阿部 和子 様
井茂 圭河 様
高味 信雄 様
杉山 雅規 様
杉山 浩一 様
秋元 あかね 様
笹森 美子 様
高橋 明子 様
村井 明美 様
久保田 哲哉 様

土屋 和彦 様
磯田 栄一 様
林 和人 様
清水 透石 様
野田 隆代 様
佐藤 美希 様
佐藤 美希 様
谷内 英一 様
福川 康一 様
吉永 喜代子 様
富山 仁美 様
藤本 勝司 様
森田 真行 様
渡辺 陽美 様
鈴木 深奈 様

今村 正様
供田 扶美 様
福武 正廣 様
江崎 史之 様
竹内 和世 様
真野 一昭 様
中山 典典 様
小池 彰 様
加藤 正叙 様
蔵口 真理 様
田中 文雄 様
宮下 雅博 様
一川 毅彦 様
中村 伸夫 様
高橋 薫 様
清田 志郎 様

ボランティア募集のお知らせ

平成27年度 東京国立博物館ボランティア募集

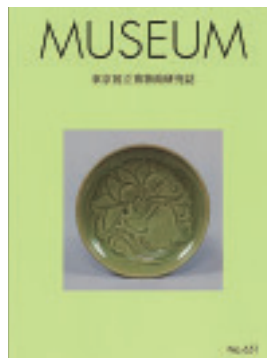
当館では、東京国立博物館をもっと身近に感じ、安心して楽しんでもらうように、ボランティアが活躍しています。館内のご案内や教育普及スペースの運営、バリアフリー対応、ワークショップ・講演会などの運営補助、スクールプログラムの実施、さらに、自主企画グループによるさまざまなガイドツアーも行っています。12月6・7日の「東博ボランティアデー」では、応募を考えていらっしゃる方への説明会も行いますので、お気軽にご参加ください(当日の入館料が必要です)。あなたもトータルでボランティアをしてみませんか? 詳細は、当館ウェブサイトでご案内します。
お問合せ 当館ボランティア室 03-3822-1111 (代表)

資料館より特別展開連図書コーナー

資料館では 特別展の開催にあわせ、関連図書コーナーを設けています。これらは、展覧会のテーマや出品作品などに関して資料館所蔵資料の中から選択した図書を選んで展示しているものです。今後さらに新しいサービスとして、利用者の方がご自分でテーマにそった資料や情報を見つけやすくするための様々な案内やガイドを作る予定です。自発的な学びをサポートすることは、ライブラリーの重要な役割です。

『MUSEUM』651号(2014年8月15日発行)の掲載論文

- ①佐藤サアラ(常盤山文庫主任学芸員)
「日本人が愛した官窯青磁—東京国立博物館東洋館特集によせて—」
- ②三笠景子(当館保存修復課研究員)
「中国青磁研究史ノート—横河コレクションの意義について—」
- ③恵美千鶴子
(当館客員研究員/東京大学史料編纂所
学術支援職員)
「『資料紹介』博物館制作「厳島神社蔵
模本」—明治の人々が見た「平家納経」—
定価:1,543円(税込)
お問合せ:当館ミュージアムショップまたは
中央公論事業出版(電話03-3535-1321)



「創エネ・あかりパーク® 2014」開催に伴う特別夜間開館

光の祭典「創エネ・あかりパーク® 2014」が、上野公園を会場に開催されます。当館でも夜間開館し、本館のスペシャルライトアップを実施します。
日時:10月31日(金)~11月2日(日) 20:00まで開館(入館は19:30まで)
主催:「創エネ・あかりパーク2014」実行委員会

TNM & TOPPANミュージアムシアター

- 『DOGU—国宝になった女神—』10月1日(水)~12月7日(日)
国宝に指定されている5件の土偶を様々な角度から詳しく解説します。
*関連展示:本誌2ページ
- 『法隆寺宝物館 聖徳太子ゆかりの名品—太子絵伝と灌頂幡—』
10月1日(水)~2015年2月1日(日)
法隆寺宝物館に収蔵されている国宝「聖徳太子絵伝」と国宝「灌頂幡」をVRならではの臨場感あふれる映像で再現します。
*関連展示:本誌11ページ
- 料金:一般・大学生・高校生:500円、小学生・中学生:300円、未就学児、障がい者及び同伴者1名:無料(1作品/1回あたり)
*総合文化展とセット購入で一般:1000円/大学生800円
*所要時間は約40分です。鑑賞には当日の予約が必要です。
*演目・スケジュールは都合により変更になる場合があります。
*詳細はウェブサイトをご覧ください。 URL <http://www.toppa-vr.jp/mt/>



特別展「みちのくの仏像」チケットプレゼント

本誌4ページでご紹介した特別展「みちのくの仏像」(2015年1月14日(水)~4月5日(日))のご招待券を抽選で10組20名様にプレゼントします。締切は2014年11月24日(月・休)必着。

*プレゼントの応募方法

はがきに郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、職業、ならびにこの号で一番おもしろかったページ・企画をご記入のうえ、下記までお送りください。発表は発送をもって替えさせていただきます。

〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館広報室「ニュース10・11月号」プレゼント係



東京国立博物館利用案内

開館時間:

9:30~17:00(入館は閉館の30分前まで)

- ~12月の特別展開催期間中の金曜日は20:00まで、~12月7日(日)の土・日曜、祝・休日は18:00まで開館。
10月4日(土)・5日(日)、11月1日(土)・2日(日)は20:00まで、10月10日(金)・11日(土)は22:00まで開館。

休館日:

月曜日(祝日・休日にあたる場合は開館、翌火曜日休館)、年末年始(2014年12月24日~2015年1月1日)

総合文化展観覧料金

一般=620(520)円、大学生=410(310)円

- ()内は20名以上の団体料金
- 障がい者とその介護者1名は無料。満70歳以上、高校生以下および18歳未満の方は無料

最新情報は、ウェブサイト、Facebook、Twitter、メールマガジンで!

東京国立博物館ウェブサイト
<http://www.tnm.jp/>

*各種イベントのお申込に際してご提供いただいた個人情報は、当該目的にのみ使用させていただきます。当館は個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理・利用と保障に万全を尽くします。

東京国立博物館ニュースの定期購読

年間(6冊分)を1,000円の送料・事務費でご自宅にお届けします。パスポート・ベーシックと同時申し込みで100円割引(会員期間と同一期間の購読に限る)。
*次号よりご送付希望の場合、締切は2014年11月10日(月)です。

東京国立博物館友の会&パスポート

友の会 発行日から1年間有効

年会費10,300円 ※有効期限1カ月前からの継続入会(パスポート・ベーシックを含む)の場合は9,800円

【特典】東京・京都・奈良・九州国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。特別展観覧券(12枚)の配布、そのほか本誌の定期郵送など様々な特典があります。

パスポート 発行日から1年間有効

一般4,100円 29歳以下3,000円 学生2,500円

【特典】東京・京都・奈良・九州国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも、特別展は1回ずつ計6回まで観覧可能です。

ベーシック 発行日から1年間有効

一般1,500円 29歳以下1,100円 学生900円

【特典】東京国立博物館の総合文化展を何度でも観覧できます。

◎お問合せ

電話03-3822-1111(代)友の会・パスポート担当
FAX03-3821-9680

▶各種お申込みは当館窓口・ウェブサイトまたは郵便振替で

【ウェブサイト】

申込フォームよりお申し込みください。クレジットカードによる電子決済をご利用いただけます。

【郵便振替でのお申込】

- 振替用紙に郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・年齢・性別・メールアドレスを楷書でご記入ください。
- 振替用紙の半券が領収書になります。有効期間終了まで保管しておいてください。
- 振替手数料はお客様負担となります。
- ご入金確認日より会員証等がお手元に届くまで2週間程度かかります。

友の会

口座番号00160-6-406616

加入者名(振替先)東京国立博物館友の会

- 振替用紙には申込区分(新規・継続)を記入し、[継続]の方は、有効期限内の会員証等のコピーを郵送またはFAXでお送りください。

東京国立博物館ニュースの定期購読&パスポート・ベーシック

口座番号00140-1-668060

加入者名(振替先)東京国立博物館パスポート&ニュース

- パスポート・ベーシックは、振替用紙に申込区分([パスポート・ベーシック][一般・29歳以下・学生])を記入し、[29歳以下]・[学生]の方は、年齢のわかる身分証明証のコピーを郵送またはFAXでお送りください。

2014・10

東京国立博物館 2014年10月・11月の展示・催し物

2014・11

1 水	ア スペシャルツアー 「アジアの絵画をめぐる旅」11:00 ア 衣装 11:00 ~ 16:00 博物館でアジアの旅
2 木	ア スペシャルツアー「楽の音が聞こえる シルクロードの美術」11:00 ア 衣装 11:00 ~ 16:00
3 金	夜間開館 (20:00 まで) ア 「井浦新と楽しむアジアの仏像の旅」19:30 東洋館シアター ア 彫 11:30 法 15:00 ア 屋台 17:00 ~ 20:00
4 土	夜間開館 (20:00 まで) ア スペシャルツアー「仏さまの物語」18:30 ア 彫 11:30 ア 樹 13:30 本 14:00 ア 朝 YOGA 8:30 東洋館 1 室*1 ア 韓国伝統芸能 ① 14:00 ② 16:00 東洋館前 まちなかコンサート 11:00 表慶館 ア 屋台 11:00 ~ 20:00 ア ゆりえ・衣装 11:00 ~ 16:00
5 日	夜間開館 (20:00 まで) ア スペシャルツアー「仏像はなぜ作られた?」18:30 ア 東 11:00 考 14:30 ア 朝 YOGA 8:30 東洋館 1 室*1 ア 中国伝統芸能 ① 14:00 ② 16:00 東洋館前 ア 屋台 11:00 ~ 20:00 ア ゆりえ・衣装 11:00 ~ 16:00
6 月	休館日
7 火	G 「インド細密画の世界」14:00 東洋館シアター ア 建 11:00 ア 衣装 11:00 ~ 16:00
8 水	トーハクくん誕生日 ア スペシャルツアー「考古で比べる日本と中国」 11:00 樹 13:30 ア 夜 YOGA 19:30 東洋館 1 室*1 ア 衣装 11:00 ~ 16:00
9 木	ユリノキちゃん誕生日 ア スペシャルツアー「縄文土器の個性をさぐる旅」11:00 庭 14:00 本 14:00 ア 夜 YOGA 19:30 東洋館 1 室*1 ア 衣装 11:00 ~ 16:00
10 金	特別夜間開館 (22:00 まで) ア スペシャルツアー「アジアの染織模様を旅する」11:00 英 14:00 博物館で野外シネマ 19:00 本館前 ア 屋台 17:00 ~ 21:00 ア 衣装 11:00 ~ 16:00
11 土	特別夜間開館 (22:00 まで) 留学生の日 ア 講 「中国青銅器をめぐる旅 4千年のものがたり」 13:30 陶 14:30 まちなかコンサート 11:00 表慶館 博物館で野外シネマ 19:00 本館前 ア 屋台 11:00 ~ 21:00 ア ゆりえ・衣装 11:00 ~ 16:00
12 日	時間延長 (18:00 まで) ア スペシャルツアー「馬でめぐるアジア」14:00 近 13:00 浮 14:00 ア 屋台 11:00 ~ 18:00 ア 親子でぶつぞう探検 18:00 ア ゆりえ・衣装 11:00 ~ 16:00
13 月・祝	時間延長 (18:00 まで) ア スペシャルツアー「アジア、青磁の旅」14:00 ア 屋台 11:00 ~ 18:00 ア 衣装 11:00 ~ 16:00
14 火	休館日
15 水	日本国宝展
16 木	彫 11:00、15:00
17 金	夜間開館 (20:00 まで)
18 土	時間延長 (18:00 まで) 建 11:00 樹 13:30 本 14:00 法 15:00
19 日	時間延長 (18:00 まで) 英 11:00 東 11:00 茶 12:30、14:00 浮 14:00 考 14:30 藝 15:30
20 月	休館日
21 火	G 「西日本の埴輪の造形・変遷と伝播」14:00 平成館考古展示室
22 水	
23 木	本 14:00
24 金	夜間開館 (20:00 まで) W 「唐紙の魅力、料紙の魅力」17:00 本館地下教育普及スペース
25 土	時間延長 (18:00 まで) 講 「考古学をめぐる日欧交流の物語: お雇い外国人から 現代につながる絆」13:30 平成館大講堂 W 「きらきら光る唐紙を掘ろう」10:00 本館地下教育普及スペース W 「唐紙の魅力、料紙の魅力」14:30 本館地下教育普及スペース 刀 13:00 陶 14:30 藝 15:30
26 日	時間延長 (18:00 まで) 彫 11:00 庭 14:00 浮 14:00 考 14:30
27 月	休館日
28 火	G 「横河民輔と中国陶磁」14:00 東洋館 5 室
29 水	
30 木	
31 金	夜間開館 (20:00 まで) 創エネ・あかりパーク®2014

1 土	夜間開館 (20:00 まで) 【国宝】講 「国宝指定制度と日本国宝展」 13:30 平成館大講堂 樹 13:30 本 14:00
2 日	夜間開館 (20:00 まで) 作 13:30*1 考 14:30
3 月・祝	時間延長 (18:00 まで)
4 火	休館日
5 水	
6 木	
7 金	夜間開館 (20:00 まで) G 「円筒埴輪と形象埴輪の見方」 18:30 東洋館シアター 法 15:00
8 土	時間延長 (18:00 まで) 講 「縄文時代のうつわを考える」 13:30 平成館大講堂 浮 11:00 陶 14:30
9 日	時間延長 (18:00 まで) 近 13:00 浮 14:00
10 月	休館日
11 火	G 「シリア青銅器時代の墓出土品」 台東区の伝統工芸職人展 14:00 東洋館 3 室 建 11:00
12 水	樹 13:30
13 木	庭 14:00 本 14:00
14 金	夜間開館 (20:00 まで) 英 14:00
15 土	時間延長 (18:00 まで) 建 11:00 (手話通訳付) 樹 13:30 本 14:00 法 15:00
16 日	時間延長 (18:00 まで) 英 11:00 東 11:00 茶 12:30、14:00 浮 14:00 考 14:30
17 月	休館日
18 火	G 「『唐物』を考える」14:00 本館特別 2 室
19 水	
20 木	彫 11:00、15:00
21 金	夜間開館 (20:00 まで) G 「陶棺・レリーフに見る 7 世紀の風景と 日本古代文化史」18:30 平成館考古展示室
22 土	時間延長 (18:00 まで) 【国宝】講 「国宝縄文のビーナスと国宝仮面の女神誕生の地・ 八ヶ岳山麓北山浦の縄文文化」13:30 平成館大講堂 刀 13:00 陶 14:30
23 日・祝	時間延長 (18:00 まで) 彫 11:00 庭 14:00 浮 14:00 考 14:30
24 月・休	時間延長 (18:00 まで)
25 火	休館日
26 水	
27 木	本 14:00
28 金	夜間開館 (20:00 まで) G 「国宝 破墨山水図 雪舟筆」18:30 本館地下教育普及スペース
29 土	時間延長 (18:00 まで) W 「からだが動くエビを作ってみよう」 13:00 本館地下教育普及スペース
30 日	時間延長 (18:00 まで) W 「からだが動くエビを作ってみよう」 13:00 本館地下教育普及スペース (12月7日(日)まで) (12月7日(日)まで)

*1 = 事前申込制。申込は締め切りました。
*2 = 事前申込制 (10/16 まで)。詳細は本誌前号 13 ページまたは当館ウェブサイト

考 = ボランティアによる考古展示室ガイド、集合場所: 平成館考古展示室入口
法 = ボランティアによる法隆寺宝物館ガイド、集合場所: 法隆寺宝物館 1 階エントランス
茶 = ボランティアによる応挙館での茶会、集合場所: 本館 1 階エントランス (参加費 500 円、先着 15 名、開始 30 分前に集合場所まで整理券配布)
庭 = ボランティアによる庭園茶室ツアー、集合場所: 本館 1 階エントランス (先着 20 名、開始 30 分前に集合場所まで整理券配布)
英 = ボランティアによる英語ガイド (日本美術の流れ)、集合場所: 本館 1 階エントランス
建 = ボランティアによるたてもの散歩ツアー、集合場所: 本館 1 階エントランス
近 = ボランティアによる近代美術ガイド、集合場所: 本館 1 階エントランス
東 = ボランティアによる東洋館ツアー、集合場所: 東洋館 1 階エントランス
作 = ボランティアによる子どもたちのアートスタジオ・アートスタジオ 事前申込制
刀 = ボランティアによる刀剣・武士の装いツアー、集合場所: 本館 1 階エントランス
藝 = 藝大ギャラリートーク「突起装飾環ができるまで」、集合場所: 本館 1 階エントランス

【国宝】 = 「日本国宝展」関連事業 詳細は本誌前号 5 ページ、または本誌前号 3 ページ
ア = 博物館でアジアの旅関連事業 詳細は本誌 5 ページ
講 = 月例講演会等、詳細は本誌 12 ページ
G = ギャラリートーク、詳細は本誌 12 ページ
W = ワークショップ、ファミリーワークショップ等、詳細は本誌 13 ページ
本 = 託児サービス実施日 (12:30 ~ 15:30) 事前予約制 有料
考 = ボランティアによる本館/ハイライトツアー、集合場所: 本館 1 階エントランス
浮 = ボランティアによる浮世絵ガイド、集合場所: 本館 1 階エントランス
陶 = ボランティアによる陶磁ガイド、集合場所: 本館 1 階エントランス
彫 = ボランティアによる彫刻ガイド、集合場所: 本館 1 階エントランス
※ 10 月 3 日、4 日の集合場所は東洋館 1 階エントランス
樹 = ボランティアによる樹木ツアー、集合場所: 本館 1 階エントランス

屋外で実施するツアー・ガイドは雨天の場合中止することがあります。